諏訪清陵SSH便り

諏訪清陵高等学校
12 月号①
平成 25 年度 第 11 号
（平成 22 年度指定）

第３回科学の甲子園全国大会長野県予選に参加

チーム A 第２位受賞　チーム B 数学部門第１位受賞

11 月 23 日（土）信州大学理学部において第３回科学の甲子園長野県予選を兼ねる信州サイエンステクノロジーコンテストが催され、長野県下の工業科、理数科・SSH 指定校から１３チームが出場しました。本校からは SSH コースの２年生選抜（チーム A）、天文気象部（チーム B）、科学系クラブ（チーム C）、１年生（チーム D）の４チームが参加しました。

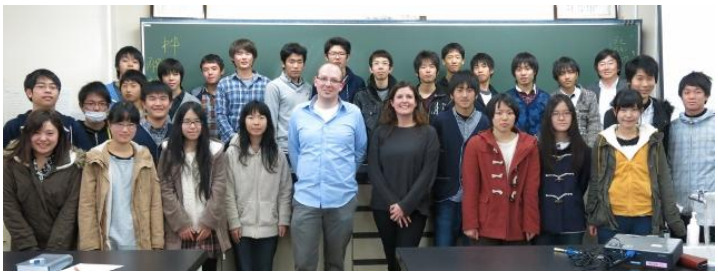
当日は、１チーム６人編成で数学・情報・物理・化学・生物・地学の６科目に挑戦しました。１人１科目挑戦するチームもあれば、全員で協力して取り組むチームもありました。結果は、チーム A が、優勝した松本深志高校に僅差で敗れ２位を受賞して、大会終了後、諏訪東京理科大学の川村学長（写真右端）より「信州サイエンス坊ちゃん賞第 2 位」の記念の盾を頂きました。また、B チームは総合 7 位ながら、数学部門では全県１位の成績を獲得しました。

２年生は大会直前に修学旅行、そして前日までは定期考査という厳しい日程で、十分な対策が出来ない中での大会参加でした。結果は大善戦というべきでしょう。しかし、参加者の内心は、2 年前に先輩が獲得し、素晴らしい経験を積むことができた全国大会出場を逃して、大変悔しい思いをしたようです。なお、C チームは第 9 位、D チームは第 11 位でした。1 校から 4 チームが参加したことについて、主催者の先生方からその意欲的姿勢が大変称賛されました。1 年生チームは大会直前 1 週間、放課後自主ゼミを開いて大会に備えて参加したので、いっそう悔しかったようです。次回に期待します。

科学英語セミナー（Chemistry）開催

「時間分解赤外分光法によるイオン化誘起溶媒再配向ダイナミクスの研究」について

11 月 22 日(金)午後、東京工業大学 Dr. Martin WEILER（東京工業大学）をお招きして、2 学年 SSH 講座と希望者を対象に科学英語セミナーを実施しました。最先端の分析機器を用いた異性体研究の英語での講義は、専門的でやや難解であったようですが、アンケートによれば、難しくても科学の内容を直接英語でお聞きする機会は貴重な体験であったとの感想が書かれていました。



このセミナーは、 日本学術振興会の「サイエンス・ダイアログ事業」の協力を頂いて実施しました。